【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成21年12月17日(2009.12.17)

【公開番号】特開2008-201286(P2008-201286A)
【公開日】平成20年9月4日(2008.9.4)
【年通号数】公開・登録公報2008-035
【出願番号】特願2007-40352(P2007-40352)
【国際特許分類】
Ｂ６２Ｊ　1/12　(2006.01)
Ｂ６２Ｊ　35/00　(2006.01)
Ｂ６２Ｊ　9/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６２Ｊ　1/12　Ｂ
Ｂ６２Ｊ　35/00　Ｚ
Ｂ６２Ｊ　9/00　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成21年11月4日(2009.11.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
先ず図１において、スクータ型である自動二輪車の車体フレームＦは、前輪ＷＦを軸支するフロントフォーク１０ならびに該フロントフォーク１０に連結される操向ハンドル１１を操向可能に支承するヘッドパイプ１２を前端に備えるものであり、後輪ＷＲを後端で支持するユニットスイングエンジンＵＥが車体フレームＦの前後方向中間部で上下揺動可能に支承され、ユニットスイングエンジンＵＥよりも前方で車体フレームＦには、側面視で上下に長く形成される機能部品である燃料タンク１３と、該燃料タンク１３よりも前方に配置されるラジエータ１４とが搭載される。また車体フレームＦの後部には、乗員用シート１７と、該乗員用シート１７の後方に配置されるパッセンジャーシート１８とが配置される。さらに車体フレームＦ、前記ユニットスイングエンジンＵＥの前部、燃料タンク１３およびラジエータ１４を覆う合成樹脂製の車体カバー１９が車体フレームＦに取付けられる。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
レッグシールド３０…の一部およびフロアセンターカバー３２…により、両足置き部３１…間で上方に隆起するとともに燃料タンク１３およびラジエータ１４を収納するフロアトンネル部３７が、ヘッドパイプ１２の後方から乗員用シート１７の前端下方にかけて形成され、このフロアトンネル部３７には、燃料タンク１３がその上端に備える給油キャップ３８を開けて燃料タンク１３に給油することを可能とするために給油リッド３９が開閉可能に配設される。また車体フレームＦにおける両上ダウンフレーム２２…の後部、両シートレール２４…および両リヤフレーム２５…間で乗員用シート１７およびパッセンジャーシート１８の下方には、乗員用シート１７およびパッセンジャーシート１８の開放時に

物品の収納および取り出しを可能とした収納ボックス４０が配置される。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２３】
前記シート用ヒンジ機構４１は、車体フレームＦのクロスパイプ４３に固定されるシート用ブラケット４５と、前記乗員用シート１７に設けられるシート用アーム４６とが、車体フレームＦの幅方向に沿う外側からの締結および締結解除操作を可能としたボルト４７を介して回動可能に連結されて成るものであり、両シート用ヒンジ機構４１…のシート用ブラケット４５…は、前記クロスパイプ４３の両端部に溶接等で固着される。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２９】
図５を併せて参照して、前記支持板３８の下面には、該支持板４８の両側から側方に張り出す部分を有する合成樹脂製のアンダカバー７１が当接されるものであり、このアンダーカバー７１の下面には、前後に間隔をあけて一対の円筒状のボス部７２…が突設される。ところで乗員用シート１７および車体フレームＦ間には、収納ボックス４０を開閉するための乗員用シート１７の回動動作を緩やかなものとするためのダンパ（図示せず）が設けられるものであり、このダンパの上端を連結するためのダンパブラケット７３が前記両ボス部７２…の下端に当接される。而して前記ダンパブラケット７３に下方から当接する鍔部７４ａ…を一体に有する円筒状のナット７４…が、前記ダンパブラケット７３および前記ボス部７２…に挿通され、前記支持板４８に上方から挿通されるボルト７５…が前記ナット７４…に螺合される。これによりダンパブラケット７３が、支持板４８との間にアンダーカバー７１を挟むようにしてボルト７５…によって支持板４８に締結される。